

感気持進

6月 

すべての人生のことは「させられる」と思うから辛かったり惨めになるので、「してみよう」と思うとなんでも道楽となる。 曾野綾子

結論は、主体的に生きるということでしょうか。自分の仕事を「やらされている」から「やってみよう」に変えることで、「やりたい」という自分の心を育てることができそうです。こうなると、自身の幸せが広がる気がします。

校長講話、6月24日(月)に実施！

今回は、①元気といえば元気になる、②友達にしたい人＝美しい人、という話、③絵本『泥かぶら』の紹介をしました。詳しくは裏面をご覧ください。

文化芸術鑑賞！！

総勢60人による広島交響楽団の演奏を鑑賞しました。ロッシーニ、ビゼー、ブラームスなどの有名な楽曲が披露され、聴きごたえがありました。「おもちゃのシンフォニー」では、楽器演奏で5、6年生がオーケストラに参加しました。ハンガリー舞曲第5番では、今村光花さんが指揮をしました。とても上手でした。湊田美桜さんの、学校を代表してのお礼も立派にできました。



バイオリン演奏体験中

校内童話発表会！！！！

6月27日(木)に須恵文化ホールで行いました。代表者は表のとおりです。

学年	氏 名	絵本の題名
1年	椎葉 遥香さん	くまくまパン
2年	村中 莉生さん	11ぴきのねこ
3年	田上 穂乃香さん	あのときすきになったよ
4年	坂本 翔太郎さん	いのちのたべもの
5年	谷川 朔磨さん	そっといちどだけ
6年	高田 舞さん	100万回生きたねこ



身振り手振りで表現！

仲間や御家族等が見守る中、各学年代表の児童は自信を持って発表することができました。自分(作者)の思いを、相手に伝えることはとても難しいことです。代表者の皆さん、ナイストライ！でした。代表になれなかった児童には、「大切なのは本を読んだこと、本を覚えようと努力したこと」と伝えました。